

活動報告書

- ① グループ名
NPO法人 悟空研究所
- ② 提案名
子ども達が「横浜はじめて物語」を体で感じる体感遊び
- ③ 助成を受けて行った活動の時期及び内容

■活動の内容と実施形態

このクイズラリーは次の、2段構えの活動として実施しました。

まず、みなとみらい21地域の文化遺産の横浜開港時代の事を遺跡の現場に触れながら、勉強する「みなとみらい21地域の探索散歩」を実施しました。

次に、探索でえた知識を検証するクイズラリーを臨港パークで実施しました。

活動の主体は、この体感クイズラリーでこれは記憶力(知)と体力(力)の勝負です。

探索散歩でえた知識の中から20問のクイズを出して、その答えが正解の人は広い公園の次のポイント新しい問題をもらい次のステップへ進みます。

不正解や解らない人は、広い公園を一周してから新しい問題ももらって、次のステップに進むと云う知力と体力で楽しく遊びながら勉強するクイズラリーです。

■平成24年1月21日(土)

「みなとみらい21地域の探索散歩」の実施。

前日の雪が残って寒い日でしたが、28日(土)が市民活動センターが休館で延期できず、決行しました。

しかし40名を超える応募がありましたが、18名だけの参加者でした。

ドックヤードガーデンと日本丸から、汽船道を歩いてゆく途中でみぞれが降り始めて、中止して市民センターに戻りました。

10月末にリハーサルで散歩した時を思い出しての座学で勉強しました。

赤レンガ倉庫、象の鼻の事などを「しおり」を見ながらみんなで意見交換をして、2週間後の「体感クイズラリー」に備えました。



■平成24年2月4日(土)

「みなとみらい21体感クイズラリー」の実施。

13:00 開会式、横浜市民活動センター4階。

21日に参加した18名に21日に欠席した13名と当日参加の7名を加えて、参加者は38名となりました。

クイズラリーの方法や注意事項の後、手作りののぼりを持って、会場の臨港パークに移動しました。

14:00 理事長の開会宣言後「みなとみらい21体感クイズラリー」開始。

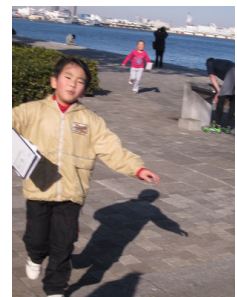
各アジトでクイズをもらい、基地に戻り正解だと次のアジトに新たな問題をもらいに走る。不正解だと各アジトを全部回ってシールをもらって来て、次の問題に行けると云う

タイム勝負の、知力と体力勝負のクイズラリーです。

14:40 全問正解で走り抜けた、3年生男子が1位でゴール。

14:43 2位の男の子が全問正解したゴール。

15:03 1位の女の子がゴール。



16:30 終了。

タイムオーバーで、
出来なかった子どもは、
2名でした。

市民活動センターに戻り、
表彰式を行う。

男女の1～3位の子どもに、金・銀・銅のメダルを授与した。
男女各10位までの子ども達に表彰状を渡して、
全員に参加賞を渡しました。



こうして、第1回目の
「みなとみらい21体感クイズラリー」は
無事終了しました。



■制作物データ

*募集チラシ、A/4版フルカラー・裏面モノクロ、5,000枚印刷。

*参加のしおり、A/5版4つ折り8ページ仕上げ、250枚印刷。

④ エリアマネジメントにおける効果

みなとみらい21地区は、江戸末期から明治の日本近代史で重要な位置にあった横浜開港の拠点地域として、数多くの文化遺産が点在しています。

横浜に住む子ども達とその連綿と受け継がれた近代史の遺産や遺跡を、肌身で感じて自分たちが住む横浜に愛着を持ち誇りが持てるように、この文化遺産を取り巻く歴史物語を、語りかけて子ども達の血肉となるよう体感させるイベント実施しました。

子ども達の知的成長は早く、また話題の伝播力も素晴らしいものがあります。

この子ども達に、みなとみらい21地域の素晴らしさを語りかけてゆくことは、正しくエリアマネジメントの目的の一つである、地域への愛着や満足度の高まりが、子ども達を通して寄与するものと思います。

また、今年度の活動をFM横浜の地域情報番組で取り上げて頂き、約10分間出演してPRしました。これも、ささやかに地域の広報に寄与したのではないかと思います。

⑤ 今後の活動展望（課題や活動の広げ方、継続性 等）

エリアマネジメントの課題の一つである、地域への愛着や満足度の高まりを、子ども達を通して実現する切っ掛けづくりとしての、活動に出来ないかを模索しています。

これは、三年次を活動の集約点として、次につなげることを考えるときの一つのテーマです。その目標は、みなとみらい21地域に居住する子ども達の仲間意識の醸成です。

子ども達は未来の創造者です。

子ども達が新たな想像力で明日をみつめ、このみなとみらい21の歴史から横浜の明日を考え、好奇心と仲間意識を形成する事の切っ掛けを模索しています。

収 支 決 算 書

団体名 特定非営利活動法人悟空研究所

1 収入

項 目	金 額	説明 (負担者及び負担方法等)
交付された助成金 (A)	300,000円	
自己資金	78,359円	特定非営利活動法人悟空研究所
合 計	378,359円	

2 支出 (助成金対象経費分)

No.	項 目	数量 単位	単 価	金 額	説 明
1	チラシ等デザイン委託費及び印刷費	1人	20,000円	20,000円	チラシデザイン及び構成委託費
2	チラシ等デザイン委託費及び印刷費	1回	33,730円	33,730円	チラシ印刷費 5,000枚分
3	クイズに必要なしおり制作にかかる費用	1人	20,000円	20,000円	執筆料
4	クイズに必要なしおり制作にかかる費用	1人	20,000円	20,000円	構成費
5	クイズに必要なしおり制作にかかる費用	1回	48,560円	48,560円	しおり印刷費 250部
6	会場使用料又は機材菜と賃借料	1回	6,000円	6,000円	臨港パーク 会場費2 月4日分
7	会場使用料又は機材菜と賃借料	1回	8,640円	8,640円	神奈川サポートセン ター 打合せ分
8	用紙等事務用品費又は材料費	50個	352円	17,600円	11月20日支払 用箋挟B5
9	用紙等事務用品費又は材料費	1箱	3,290円	3,290円	12月20日支払 マルチペーパーA4
10	用紙等事務用品費又は材料費	3本	525円	1,575円	12月20日支払 筆ペン 表彰状用
11	用紙等事務用品費又は材料費	4箱	4,460円	17,840円	12月20日購入 パソコンインク
12	用紙等事務用品費又は材料費	1枚	5,136円	5,136円	1月3日購入 のぼり用布

第6号様式 (第18条)

13	用紙等事務用品費又は材料費	5袋	360円	1,800円	1月10日購入 配布用封筒
14	用紙等事務用品費又は材料費	4箱	646円	2,584円	1月10日購入 バンドエイド
15	用紙等事務用品費又は材料費	1回	12,458円	12,458円	1月10日購入 2月4日使用分 メダル金・銀・銅 @868円×3個×2セット=5,208円 表彰状 @80円×25枚=2,000円 ものさし(参加賞) @105円×50個=5,250円
16	用紙等事務用品費又は材料費	2箱	2,205円	4,410円	1月20日支払 マーカー10本入り
17	用紙等事務用品費又は材料費	1箱	1,880円	1,880円	1月20日支払 クリップペン100本
18	用紙等事務用品費又は材料費	2箱	1,428円	2,856円	1月20日支払 吊り下げ名札25枚入り
19 ～ 24	アルバイトの人件費6人	3回	7,000円	126,000円	調査2回3500円で1回 分散歩・クイズ7000円
25 ～ 30	メンバー交通費 費6人	4回	1,000円	2,4000円	打合せ 調査 散歩 クイズ分
	合計(B)			378,359円	

3 決算後の助成金の額

(1) $(A) \leq (B) \times 4/5$ の場合 (A) の額 円 300,000.-

(2) $(A) > (B) \times 4/5$ の場合 (B) × 4/5 の額 円 .-